



## 自己管理の大切さ

校長 秋原 栄人

今年の寒さは平年並みという予報で、比較的暖かい日が続いていた矢先、大寒を過ぎたころから寒波が襲来し、都心では48年ぶりの大寒波に見舞われました。そんな中、3年生は中学校最後の定期テストが終わり、10日には私立高校の入試、16日からは公立高校前期選抜と、今月は入試前半の大きな山場を迎えます。しかし、季節の変わり目は体調も崩しやすいものです。早寝、早起き、朝ごはんを意識し、体調をしっかりと整えて本番に臨んで欲しいと思います。また、1, 2年生は、3年生の私学入試に合わせて、同じ10日に夢チャレンジテストがあります。このテストをきっかけに、これまでの復習をしっかりと行い、課題を次の学年に持ち越さないことが大切です。そのためには、自分は何ができていて何ができていないのかをきちんと整理し、やりきれていなかったことを振り返るきっかけにしてほしいと思っています。

先日、白糸校区の小学6年生を本校に迎え、給食の試食や授業体験を行いました。その中で、中学校3年間で身に付けて欲しい事として、自己管理ができるようになってほしいという話をしました。これは単に、小学校の時は親にやってもらっていたことを「もう中学生なんだから」という理由で自分でやるという自己管理だけでなく、「自分を自分でコントロールする力」（我慢、はじめ、積極性など）であったり、「他の人とうまく関わる力」（あいさつ、思いやり、コミュニケーションなど）そういった力です。要は知識として頭の中で覚えたり、考えたり、理解するだけで終わるのではなく、学校生活の中で、「行動する力」として体得して欲しいということです。



6年生体験授業

自覚して行動するという点では、毎年年始に行われる箱根駅伝で、並み居る強豪を押しつけて4連覇を達成した青山学院大学の原監督は、偉業を成し遂げた学生達を「自分が指示を出さなくても選手がそれぞれやるべき事を考えて実行する自立した集団」と言っています。いくら有力な選手がいても、自分をコントロールできない選手は超一流にはなれないということだと思いますが、ここでも自己管理の大切さが勝敗を分けています。9年間の義務教育のまとめとして、中学校生活の中で、「自分をコントロールする力」を体得し、学習にしろ部活にしろ社会に出て通用する力を身につけて欲しいと願っています。

### いじめアンケート集計結果（11月実施分）

認知件数	1年	2年	3年	男女別合計
男子	2	5	2	9
女子	2	2	4	8
学年別合計	4	7	6	17
いじめの態様				件数
冷やかしゃからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。				10
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、けられたりする。				3
嫌なことや恥ずかしい事、危険なことをされたり、させられたりする。				1
パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことを書かれる。				1
その他				2
計				17

（注）

- 生徒が「困っている・嫌な思いをした」ことについて幅広く拾い上げています。
- 認知した事象は、解消に向けて担任・学年教師を中心に、詳細な聞き取りと関係生徒への指導、その後の面談などを継続的に行っています。